

「へき地教育フォーラム in 十勝」が開催されました

日時	平成20年11月7日（金）～11月8日（土）
場所	幕別町立駒畠小学校，十勝幕別温泉グランヴィリオホテル
主催	北海道教育大学
共催	十勝へき地・複式教育連盟
後援	北海道教育庁十勝教育局／十勝管内教育委員会連絡協議会／幕別町教育委員会 全国へき地教育研究連盟／北海道へき地・複式教育研究連盟／北海道算数数学教育会
参加者	現職教員，教育関係者，学生のべ170名

1. フォーラムの内容と成果

このフォーラムは，平成17年度文部科学省特色ある大学教育支援プログラム（特色GP）として採択された「へき地・小規模校教育実践プログラムの開発」事業によるもので，同事業の最終年度である今回は，教育の原点と言われるへき地教育の授業研究と，へき地教育実習の意義をテーマにして実施した。

第一部「複式学級がはぐくむ自ら学ぶ力」では，北海道幕別町立駒畠小学校を会場に，同校 佐藤圭司教諭による複式授業（3年生3名／かけ算の筆算，4年生1名／わり算の筆算）が公開された。子どもたちは生き生きと学習課題に取り組む姿が印象的であり，参加者は，複式教育の特徴である直接指導と間接指導等の実際を興味深く観察した。引き続き，佐藤教諭，北海道教育大学釧路校杉山佳彦教授によるトークセッションがあり，複式指導の難しさを克服し，児童の経験を重視する授業展開を中心に活発な意見交換が行われた。

第二部は会場を幕別町内のホテルに移し，「へき地校から発信する算数科教育」と題したシンポジウムを行った。土幌町立佐倉小学校 大場慎也教諭，音更町立木野東小学校 江口秀和教諭，長崎大学教育学部 平岡賢治教授，北海道教育大学旭川校 久保良宏教授による，それぞれ実践をふまえた発表，提言の後，会場を交えての活発な意見交換が行われた。

第三部では，筑波大学大学院人間総合科学研究科 清水静海准教授による講演「今，算数・数学教育に何が求められているか」が行われ，学習指導要領の改訂を中心に，思考力，判断力，表現力などを育むための学習活動を中心に，問題解決型の授業に向けた提言があった。

二日目には，第一部「教育の原点を学ぶへき地校体験実習」と題し，北海道教育大学札幌校，旭川校，釧路校の学生5人によるへき地教育実習の体験発表と，実習を受入れた標茶町立磯分内小学校 廣瀬文彦校長，土幌町立佐倉小学校 玉川弘幸教頭による発表があり，長崎大学教育学部 藤木卓教授からは同学部が現代GPとして取り組む離島実習の発表と合せて，へき地教育実習の意義について，率直な意見交換が行われた。ちなみに，長崎大学教育学部とは，平成18年度からへき地教育に関する研究交流を行っている。

以上2日間にわたるフォーラムの成果として，参加者は以下のように本プログラムについての理解・関心を深めることができた。

現職教員と大学教員が協働して取り組んだ算数・複式の授業研究は，率直かつ真摯な議論を生み，子どもが自ら学ぶ力をつける指導，問題解決的学習の進め方など，へき地教育の内容・方法研究に示

峻を与え、今後の継続的連携が期待される。

へき地校体験実習の受講学生は、事前指導内容の精選・充実とともに、実習体験のふり返りと意味づけを丁寧に行うことにより、教職への動機づけと地域理解をいっそう確かなものとしている。一方、へき地・小規模校では、教育実習生を受入れることによって子どもたちの社会性が伸長し、現職教員が日常の実践を見直す機会となり、学校経営や校内研修が活性化している。

本プログラムは、平成17年度以来、へき地校体験実習の充実・整備を中心にして取り組んできた。この間、実習運営のさまざまな課題を解決するために、へき地校や教育行政機関と密接に関わることができた。その成果をふまえて、本プログラムは、教員養成段階から現職教員研修を見通したカリキュラムの整備や教材の充実が新たな課題となる。

2. 今後の事業への反映

今回のフォーラムにおいては、へき地・小規模校が授業研究の活性化を図る上で、大学との研究連携が不可欠であること、一方、学生がへき地・小規模校教育の理解を深め、地域に生きる教員としての意識を形成する上で、学校現場や教育行政機関の協力は必須であることが確認され、今後いっそう双方向の連携・協働体制を構築していきたい。

長崎大学教育学部の離島実習の取組みでは、学生の学びの履歴を電子化して蓄積していることから、これを本プログラムの改善点とするべく、今後の研究交流を深めて行きたい。

北海道教育大学は、平成20年4月のセンター再編により学校・地域教育研究支援センターを設置した。同センターには、へき地教育研究支援部門を置き、地域の諸機関と連携を図りつつ学校教育や現職教員への支援を通じ、地域教育の充実・発展に寄与することとしており、へき地校の割合が約半数である北海道において、関係者から今後の活動を期待されている。



授業公開・トークセッション「複式学級がはぐくむ自ら学ぶ力」



ポスターセッション



シンポジウム(1)
「へき地校から発信する算数科教育」



講演「今、算数・数学教育に
何が求められているか」



シンポジウム(2)
「教育の原点を学ぶへき地校体験実習」